

入 試 要 項

桐朋女子高等学校音楽科

(男 女 共 学)

2009



目 次

ページ

一般入学試験	2
一般推薦入学試験	4
入学試験科目・課題	6
試験日程表	14
出願書類記入上の諸注意	15
受験上の注意	17
練習室の貸出しについて	17
合格発表、入学手続、入学金・授業料等	18
特待生制度および奨学金制度・学生寮等	19
交通機関案内図	21
宿泊施設	22

同封の書類等

- ・ 入学試験志願票・受験曲目票
- ・ 奨学金申請書
- ・ 入寮願
- ・ 出願書類送付用封筒
- ・ 受験証送付用封筒
- ・ 伴奏合わせ日時連絡用封筒
- ・ 検定料納金票 い る (第2志望併願用)
- ・ 伴奏譜提出票
- ・ 調査書

この要項一式には一般推薦入学試験用の「志願票・受験曲目票・推薦書」を同封していません。出願予定者は、事務局教務課入試係 03-3307-4122 に電話で請求してください。

一般入学試験

募集人員

第1学年 90名

(ピアノ専門、弦楽器専門、管楽器専門、打楽器専門、ハープ専門、声楽専門、作曲専門 大学進学時に指揮専攻を希望する者を含む)

出願資格

1. 中学校の課程を卒業した者(2009年3月卒業見込みの者を含む)
2. 学校教育法第47条の規定により、高等学校入学に関し、中学校を卒業した者と同等の学力があると認められる者
3. 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者
4. 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
5. 文部科学大臣の指定した者
6. 学校教育法第23条(第39条第3項で準用する場合を含む)の規定により保護者が就学させる義務を猶予または免除された子女で、文部科学大臣が別に定めるところにより、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
7. その他、中学校を卒業した者と同等の学力があると本校において認められた者

選考方法

選考は試験(一般科目、専門科目、専門実技)による。

受験方法

次のうち、いずれかの方法を選んで受験する。

1. 専門実技第1志望のみを受験する。
2. 専門実技第2志望も受験する。

〔注〕出願後の変更は認めない。

試験日程

2009年2月14日(土)～2月16日(月) (14ページ参照)

試験会場

本校(21ページ参照)

出願期間・方法

2009年1月26日(月)～1月31日(土) 【郵送に限る。1月31日消印有効】

事前に入学検定料を納入のうえ、上記期間中に後掲の出願書類を提出する。

出願手続

1. 入学検定料納入方法

必ず銀行振込による。(同封の納金票①または②を使用する)

入学検定料 52,500円 (注) 専門実技第2志望も受験する場合……73,500円

- a) みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行窓口からの振込手数料は不要。
- b) 納金票 票(領収証)は、銀行収納印をもって本校領収印に代える。

2. 出願書類

- a) 志願票・受験曲目票…………… 記入方法については、15～16ページ参照。
 - b) 納金票 票(受験証)…………… 納金票①を用いる。ただし、専門第2志望も受験する場合は納金票②を用いる。志願票と納金票 票(受験証)には、所定の枠に合わせて写真を貼付する。その際、写真裏面に氏名を書く。
正面上半身脱帽 背景のないもの 3カ月以内に撮影したもの タテ4cm×ヨコ3cm
 - c) 出身学校調査書…………… 本校の指定した用紙に中学校長が作成したもの。
(出願前3カ月以内に発行されたもの)
- [注] 中学校卒業・卒業見込み以外の者は、それに相当する修了(見込)証明書と成績証明書を提出する。
- d) 受験証送付用封筒…………… 受験者本人が受け取る住所を記入し、360円分の切手を貼付する。
 - e) 伴奏合わせ日時連絡用封筒… 受験者本人が受け取る住所を記入し、350円分の切手を貼付する。
ただし、無伴奏曲で受験する者は提出不要。
 - f) 伴奏譜(コピー譜可)…………… 弦楽器、管楽器、打楽器、ハープ、声楽の各受験生が提出する。ただし、無伴奏曲で受験する者を除く。伴奏譜の表紙に「伴奏譜提出票」を貼付する。コピー譜の場合は、伴奏者が演奏しやすいようにテープで貼る等、配慮のうえ提出する。詳細は16ページ参照。
 - g) 入寮願…………… 入寮を希望する者のみ提出する。
 - h) 桐朋学園音楽部門奨学金申請書

申請者は「桐朋学園音楽部門奨学金申請書」を別封筒(各自で用意)に入れ、表面に「奨学金関係書類在中」と朱書きし、出願書類に同封する。

3. 郵送先・問い合わせ先

〒182-8510

東京都調布市若葉町1-41-1

桐朋女子高等学校音楽科 事務局教務課入試係

電話 03-3307-4122 (ダイヤル・イン)

一般推薦入学試験

募集人員

第1学年 10名

(管楽器専門、打楽器専門、ハープ専門、声楽専門、作曲専門 大学進学時に指揮専攻を希望する者を含む)

出願資格

1. 中学校を2009年3月卒業見込みの者で、本学を専願する者
2. 専門として志願する楽器等演奏に関して優れた能力を有し、かつその学修に積極的な意欲をもつ者
3. 出身学校長が責任をもって推薦する、以下の条件を満たす者
9教科の5段階評定の平均値3.0以上の者
基準となる成績は、3年の前期または2学期までの成績とする
心身共に健康である者
4. 実技指導教員等が責任をもって推薦する者

選考方法

選考は試験(専門科目、専門実技、面接)による。

試験日程

2009年1月22日(木) <伴奏合わせを含めてすべて1日で行う>

試験会場

本校(21ページ参照)

出願期間・方法

2009年1月19日(月)～1月20日(火)【郵送に限る。1月20日必着】

事前に入学検定料を納入のうえ、上記期間中に後掲の出願書類を提出する。

出願手続

1. 入学検定料納入方法

必ず銀行振込による。(同封の納金票 \square)を使用する)

入学検定料 52,500円

- a) みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行窓口からの振込手数料は不要。
- b) 納金票 票(領収証)は、銀行収納印をもって本校領収印に代える。

2. 提出書類

この要項一式には一般推薦入学試験用の「志願票・受験曲目票・推薦書」を同封していません。出願予定者は、事務局教務課入試係 03-3307-4122 に電話で請求してください。

- a) 志願票・受験曲目票 記入方法については、15～16ページ参照。
- b) 納金票 票（受験証）..... 納金票^①を用いる。
志願票と納金票 票（受験証）には、所定の枠に合わせて写真を貼付する。その際、写真裏面に氏名を書く。
正面上半身脱帽 背景のないもの 3カ月以内に撮影したもの タテ4cm×ヨコ3cm
- c) 出身学校調査書..... 本校の指定した用紙に中学校長が作成したもの。（出願前3カ月以内に発行されたもの）
- d) 推薦書..... 出身学校長が作成する「推薦書」（指定書式 - 出身学校調査書に同封する）
実技指導教員等が作成する「推薦書」（指定書式）
以上2通を提出する。
- e) 伴奏譜（コピー譜可）..... 管楽器、打楽器、ハープ、声楽の各受験生が提出する。ただし、無伴奏曲で受験する者を除く。伴奏譜の表紙に「伴奏譜提出票」を貼付する。コピー譜の場合は、伴奏者が演奏しやすいようにテープで貼る等、配慮のうえ提出する。詳細は16ページ参照。
- f) 入寮願 入寮を希望する者のみ提出する。
- g) 桐朋学園音楽部門奨学金申請書
申請者は「桐朋学園音楽部門奨学金申請書」を別封筒（各自で用意）に入れ、表面に「奨学金関係書類在中」と朱書きし、出願書類に同封する。

3. 郵送先・問い合わせ先

〒182-8510

東京都調布市若葉町1-41-1

桐朋女子高等学校音楽科 事務局教務課入試係

電話 03-3307-4122（ダイヤル・イン）

出願手続後について

1. 「受験証」は1月22日（試験当日）に交付する。
2. 1月22日の予定等については、1月20日中に受験生にFAXで連絡する予定。
志願票には必ずFAX番号を記入のこと。

入学試験科目・課題

「一般入学試験」

< 入学試験科目 >

・ 一般学科	「国語」「英語」「数学」 1時間30分で3教科を解答する。辞書を使用することはできない。
・ 専門科目	(1) 楽典 (1時間) (2) 新曲視唱 (原則として固定ド唱法を用いるが、移動ド唱法を用いてもよい。) (3) 聴音 (1時間) a) 旋律の書き取り b) 和音および和声の書き取り 【作曲志願者には他の志願者とは異なる課題を課す。】 【課題の内容・難易度は過年度入試問題集を参照のこと】 (4) 副科ピアノ実技 (ピアノ専門、作曲専門志願者を除く。) 課題については下記参照。
・ 専門実技	各専門実技課題については下記参照。

< 副科ピアノ実技試験課題 >

課題 自由曲 1曲……ソナチネ・アルバム程度以上 (暗譜で演奏する)

< 専門実技試験課題 >

① ピアノ

課題(1) 次の1. 2. 3.のいずれかを演奏する。

1. Beethoven : Sonate Es-dur op.7 第4楽章
2. Beethoven : Sonate E-dur op.14-1 第1楽章・第3楽章
3. Beethoven : Sonate B-dur op.22 第1楽章

課題(2) 下記 1) 2) を演奏する。 - 演奏する順序は自由 -

- 1) Bach : Das Wohltemperierte Klavier の次の3曲から任意の1曲を演奏する。
 1. 第 巻 No.9 E-dur BWV 854
 2. 第 巻 No.17 As-dur BWV 862
 3. 第 巻 No.15 G-dur BWV 884
- 2) Moszkowski : 15 Etudes op.72 から任意の2曲を演奏する。

暗譜で演奏する。

繰り返しは省略する。当日、演奏をカットすることもある。

試験は、課題(1)と課題(2)に分けて行う。

2 弦楽器

以下の(1)と(2)を暗譜で演奏する。(コントラバスの課題は(1)のみ)

a) ヴァイオリン

(1) 以下の課題曲から1曲を演奏する。演奏曲は2月14日(土)午前9時30分に入試掲示板に掲示発表する。

- 1 . Rode : 24のCapriceよりNo.23
- 2 . H. Wieniawski : op.18 Etudes CapriceよりNo.4 a-moll

(2) 以下のコンチェルトから任意の1曲の第1楽章または終楽章。ただし、Mozartに限り、第1楽章。

- 1 . Bruch : 第1番 g-moll
- 2 . Ernst : (独奏部分から第237小節まで)
- 3 . Goldmark : a-moll op.28
- 4 . Lalo : スペイン交響曲
- 5 . Mendelssohn : e-moll
- 6 . Mozart : 第3番 G-dur (カデンツァ付き)
- 7 . Mozart : 第4番 D-dur (カデンツァ付き)
- 8 . Mozart : 第5番 A-dur (カデンツァ付き)
- 9 . Saint-Saëns : 第3番 h-moll
- 10 . Vieuxtemps : 第2番 fis-moll
- 11 . Vieuxtemps : 第4番 d-moll
- 12 . Vieuxtemps : 第5番 a-moll (アダージョの前まで)
- 13 . Wieniawski : 第2番 d-moll

b) ヴィオラ

(1) 練習曲 以下の中から1曲

- 1 . Hoffmeister : Etude
- 2 . Campagnoli : Caprice

(2) 任意の曲

c) チェロ

(1) 任意のエチュード

(2) 任意のコンチェルト、コンチェルティーノ、コンチェルトシチュウツクの第1楽章または終楽章。あるいは前古典派またはバロックのソナタの急速楽章と緩徐楽章。上記の課題以外の条件で受験を希望する者は、出願時に当人の実技教師による理由書を願書に添付し提出すれば、受験することができる。

d) コントラバス

(1) 任意の曲またはエチュード

3 管楽器

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とし、繰り返しは省略する。

a) フルート

(1) E.Köhler : op.66 (Romantic Etudes) No.13,16 から当日指定する。

(2) 以下の6曲から任意の1曲

- Böhm : Air Allemande op.22
- Doppler : Trois Morceaux から op.16
- Enesco : Cantabile et Presto
- Fauré : Fantaisie op.79
- Kuhlau : Introduction et Rondo op.98
- Honegger : Danse de la Chèvre

b) オーボエ

(1) Barret : Oboe Method Forty Progressive Melodies
(Boosey & Hawkes社版 または Leduc社版)
No.10,19 から当日指定する。No.10 は繰り返しなし。
必ずしも指定されたテンポにこだわらない。

(2) 自由曲 1曲

c) クラリネット

(1) C.Rose : 26 Etudes (Leduc社版)
No.2,11,17 から当日指定する。

(2) 自由曲 1曲

d) ファゴット

(1) Julius Weissenborn
: Bassoon Studies for Beginners op.8 Vol.1 から
の(c) Staccato の No.2, 5
(d) Portamento の No.3, 4
(e) Forte,Piano,Crescendo and Diminuendo の No.4
以上から当日指定する。

(2) 自由曲 1曲

e) サクソフォン

(1) Blemant : 20 Études Mélodiques (Leduc社版)
No.2, 15, 16 から当日1曲指定する。

(2) 自由曲 1曲

f) トランペット

- (1) R.W.Getchell: Practical Studies Vol. Getchell & Hovey (Belwin Mills 社版)
No.23, 27, 34, 43, 49 から当日指定する。
- (2) 自由曲 1 曲

g) トロンボーン

テノール・トロンボーン

- (1) O.Langey : The Trombone (Carl Fischer 社版)
No.167, 169, 173, 198, 199 から当日指定する。
- (2) 自由曲 1 曲

バス・トロンボーン

- (1) O.Blume : 36 Studies for Trombone with F Attachment (Carl Fischer 社版)
No.1b, 1j, 2, 6から当日指定する。
- (2) 自由曲 1 曲

h) ユーフォニウム

- (1) Arban : Arban 金管教本 70～78 から当日指定する。 (全音楽譜出版社版)
- (2) 自由曲 1 曲

i) テューバ

- (1) 以下の4曲から当日指定する。
- C.Kopprasch : 60 Selected Studies for Tuba から No.4 (R.King社版)
- V.Blazhevich : 70 Studies for Tuba から No.1, 2, 4
- (2) 自由曲 1 曲

j) ホルン

- (1) Maxime-Alphonse : 第1巻 No.1～4 から当日指定する。 (Leduc社版)
- (2) 自由曲 1 曲

4 打楽器

以下の(1)(2)(3)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

a) パーカッション

楽器は本校で用意したものを使用する。

- (1) 小太鼓 (課題曲は、11ページ参照)
- (2) マリンバ (課題曲は、11ページ参照)
- (3) 自由曲 10分以内

b) マリンバ

楽器は本校で用意したものを使用する。

- (1) 小太鼓 (課題曲は、11ページ参照)
- (2) マリンバ (課題曲は、11ページ参照)
- (3) 自由曲 10分以内

5) ハープ

以下の(1)(2)(3)を暗譜で演奏する。

- (1) 変ホ長調のスケール・アルペジオ・和音
- (2) J.F.Nadernann : 24のプレリュード から 2曲
- (3) 自由曲 1曲

6) 声楽

以下の課題を暗譜で演奏する。

コンコーネ50番 op.9 程度以上から2曲を母音で演奏する(調性を明記すること)。
ただし、そのうち1曲はイタリア古典歌曲に代えることができる。その場合は、曲名を
原語で書き、調性を明記すること。

入学願書とともに提出する受験曲2曲の伴奏譜は各自でコピーして準備し、それぞれ
「伴奏譜提出票」を貼付する。「伴奏譜提出票」については、16ページ参照。

7) 作曲

- (1) 和声 —— ソプラノ課題、バス課題 各1題(ピアノ使用不可:計3時間)
- (2) 与えられたモチーフによる任意の楽曲作曲(ピアノ使用可:3時間)
- (3) 理論科ピアノ
 - 1) J.S.Bach : 3声シンフォニアから任意の1曲
 - 2) 自由曲 1曲 : 1)と合わせて15分以内の楽曲とすること。
1),2)ともに暗譜で演奏すること。
 - 3) 新曲初見演奏 1曲(予見時間5分)
- (4) 専門実技に関する面接

打楽器課題

演奏上の指示

課題(1) 「小太鼓」課題曲

・小太鼓の “ Snare off ” で演奏する。

$\text{♩} = 108 \sim 120$

7 staves of musical notation for the '小太鼓' exercise.

演奏上の指示

課題(2) 「マリンバ」課題曲

・次の3種類の音階のうち、ひとつを当日指定する。

$\text{♩} = 108 \sim 120$

3 staves of musical notation for the 'マリンバ' exercise.

「一般推薦入学試験」

< 入学試験科目 >

・ 専門科目	(1) 楽典 (1 時間) (2) 新曲視唱 (3) 聴音 (1 時間) (4) 副科ピアノ実技 (作曲専門志願者を除く) 自由曲 1 曲 (暗譜で演奏する)
・ 専門実技	各専門実技課題については下記参照。(作曲専門は器楽演奏を課す)
・ 面接	

< 専門実技試験課題 >

1 管楽器

a) フルート

一般入学試験に同じ

b) オーボエ

一般入学試験に同じ

c) クラリネット

一般入学試験に同じ

d) ファゴット

一般入学試験に同じ

e) サクソフォン

一般入学試験に同じ

f) トランペット

一般入学試験に同じ

g) トロンボーン

テノール・トロンボーン

一般入学試験に同じ

バス・トロンボーン

一般入学試験に同じ

h) ユーフォonium

一般入学試験に同じ

i) テューバ

一般入学試験に同じ

j) ホルン

一般入学試験に同じ

2) 打楽器

a) パーカッション

一般入学試験に同じ

b) マリンバ

一般入学試験に同じ

3) ハープ

一般入学試験に同じ

4) 声 楽

一般入学試験に同じ

5) 作 曲

- (1) 和声 - ソプラノ課題、バス課題 各1題(ピアノ使用不可:計3時間)
- (2) 作曲作品提出(複数でも良い。作曲途中のものも可)
出願手続の際、出願書類と共に提出すること。
- (3) 専門実技に関する面接
その際下記の1), 2)を演奏すること
 - 1) 楽器演奏(本校が設置している専門に限る)
8分以内の自由曲
 - 2) 上記を演奏した楽器による平易な新曲初見演奏

試験日程表

* 一般入学試験専門実技試験受験順番・集合時刻等は2月13日(金)15時に入試掲示板に掲示発表する。

専門実技	推薦入学試験	一般入学試験		
	1 / 2 2 (木)	2 / 1 4 (土)	2 / 1 5 (日)	2 / 1 6 (月)
ピアノ		9:30 ~ 実技	9:30 ~ 実技	9:30 ~ 10:30 楽典試験
弦 (VI, Va)		伴奏合わせ	10:00 ~ 実技 15:00 ~ 副科ピアノ	
弦 (Vc, Cb)		伴奏合わせ	10:30 ~ 実技 15:00 ~ 副科ピアノ	11:00 ~ 12:00 聴音試験
管楽器	試験科目 すべて	伴奏合わせ	13:00 ~ 実技 15:00 ~ 副科ピアノ	13:00 ~ 14:30 一般学科試験
打楽器		伴奏合わせ	14:30 ~ 実技 15:00 ~ 副科ピアノ	
ハープ		伴奏合わせ	12:30 ~ 実技 15:00 ~ 副科ピアノ	
声楽		伴奏合わせ	15:00 ~ 実技 15:00 ~ 副科ピアノ	15:00 ~ 新曲視唱試験
作曲		10:00 ~ 12:00 作曲実技「和声」	13:00 ~ 理論科ピアノ、 専門実技に関する 面接	(理論科ピアノ終了後引き続き)
		13:00 ~ 16:00 「モチーフ」		

* 伴奏合わせの時間は個人別に通知する。

出願書類記入上の諸注意

志願票・受験曲目票は切り離さない。

で囲まれた項目を自筆で正確に記入する。

一般推薦入学志願者は「一般推薦入学試験志願票」を使用すること。

志願票の記入方法

1. 「楽器略語・コード」… 志願票裏面の「楽器略語・コード表」に従って記入する。
一般入学試験で第2志望でも受験する場合は第2志望の「楽器略語・コード表」も記入する。
2. 「受付番号」(印欄)… 記入しない。
3. 「氏名」…………… 戸籍名を楷書で記入する。姓と名に分け、フリガナをふる。
4. 「性別」…………… 女、男を で囲む。
5. 「生年月日(西暦)」… 西暦の下2桁から順に年月日を記入する。年月日の表記が1桁の場合は十の位に「0」を記入する。
6. 「出願資格」…………… 該当する番号を で囲む。卒業・卒業見込みまたは修了した年を西暦で記入する。
7. 「出身学校」…………… 調査書に記載されている所在地、電話番号、学校名を記入する。
8. 「保護者」…………… 緊急時には保護者に連絡をとる場合もあるので、氏名、住所、電話番号、携帯電話番号を明記する。
9. 「写真」…………… 大きさはタテ4cm×ヨコ3cm、3カ月以内に撮影した背景のないものを貼る。写真裏面に氏名を書いてから貼付する。
10. 「受験期間中の居所」… 宿泊先の名称と電話番号を必ず記入する。志願票提出時に決まっていなかった場合、志願票提出後に変更があった場合は、決まり次第届け出る。保護者の欄と同じ場合は「同上」と記入する。
11. 「楽器の使用希望」… コントラバスの受験生で、自分の楽器を使用する場合は「なし」を で囲む。学校の楽器を使用する場合は「あり」を で囲む。(一般入学試験のみ)
12. 「特別練習の希望」… コントラバス、パーカッション、マリンバ、ハープの受験生のうち、学校で練習を希望する場合は、「あり」を で囲む。希望しない場合は「なし」を で囲む。(一般入学試験のみ)
13. 「身体の障害」…………… 障害を持つ者で、受験に際して特別の措置を希望する場合は、その障害の区分、程度を記入する。
14. 「入学後の実技担当希望教師名」
本校において決定するが、希望がある場合は、実技担当希望教師名を記入する。ただし、希望通りにならない場合もある。
15. 「寮申請」…………… 入寮を希望する者は申請欄に を記入する。
16. 「奨学金申請」…………… 奨学金を申請する者は申請欄に を記入する。

受験曲目票の記入方法

1. 「楽器略語・コード」、「氏名」・・・・・・・・・・志願票と同様に記入する。
2. 「伴奏」
伴奏がつく楽曲の場合・・・・・・・・・・あり を で囲む。
伴奏がつかない楽曲の場合・・・・・・・・・・なし を で囲む。
3. 演奏する曲目のうち、自由曲、任意の曲については具体的・詳細に記入する。
ヴァイオリンの課題(2)については、指定された曲目のうち選択する曲目(作曲者)の番号と楽章を で囲む。
ヴィオラの課題(1)については、指定された曲目のうち選択する曲目(作曲者)の番号を で囲む。
4. 第2志望がある場合は、第2志望についても記入する。
5. 出願後の受験曲目等の変更は、認めない。
6. 「副科ピアノ」は、作曲者・曲目・調性・作品番号・楽章等を具体的・詳細に記入する。

伴奏譜提出票

1. 「区分」・・・・・・・・・・「高校」と記入する。
2. 「受付番号」・・・・・・・・・・何も記入しない。
3. 伴奏譜の表紙に貼り付ける。伴奏譜が複数ある場合は、各自で「伴奏譜提出票」をコピーして楽譜ごとに貼付する。

伴奏合わせ日時連絡用封筒 (一般推薦入試の出願者は不要)

1. 「区分」・・・・・・・・・・「高校」と記入する。
2. 「楽器名等」・・・・・・・・・・専門する楽器名等を記入する。
3. 350円分の切手を貼る。

出願書類提出用封筒

伴奏譜が「出願書類提出用封筒」に入らない場合は、各自で用意した封筒を使用して送付する。その場合、伴奏譜・伴奏譜提出票以外の出願書類は「出願書類送付用封筒」に入れてうえで、伴奏譜を入れた封筒に同封する。

受験証返送用封筒 (一般推薦入試の出願者は不要)

360円分の切手を貼付し、配達先の住所と楽器名等を所定の場所に記入する。

受験上の注意

1. 出願者に、受験にあたっての詳細が記載されている『受験心得』を送付する。
2. 一般入学試験受験者は、2月13日（金）15時に専門実技試験受験順番・集合時間等を発表（校内掲示）するので、各自必ず確認すること。電話での問い合わせには応じない。
3. 自分の演奏曲の楽譜（必要な場合）、受験証、筆記用具、昼食（試験が昼食時間におよぶ場合）を持参する。
4. 一般入学試験受験者で第2志望がある場合は、特に記さない限り、各専門実技と併せて第1・第2志望双方の専門科目を受験しなければならない。例えば、ピアノを第1志望・管楽器を第2志望として出願した者は、ピアノおよび管楽器の専門実技試験を受験するとともに、副科ピアノも受験しなければならない。出願後の志望順位の変更は認めない。
5. 伴奏付きの楽曲は、無伴奏で演奏してはならない。
6. 弦楽器、管楽器、打楽器、ハーブ、声楽の伴奏者は本校で準備する。なお、一般入学試験受験者の伴奏合わせは2月14日（土）に本校で行う。（詳細は『受験心得』を参照すること）
伴奏譜は、出願時に『伴奏譜提出票』を貼付して提出する。
伴奏合わせの集合時刻は、伴奏合わせ日の3日前までに当人宛に速達郵便で通知する。
7. 楽器の使用について
 - 1) ピアノ、小太鼓、マリンバ、ハーブ以外は各自楽器を持参して使用する。
 - 2) コントラバスは、本校または自分が所有する楽器のいずれを使用してもよい。
学校の楽器を使用する場合は、「出願書類記入上の諸注意」の「楽器使用の希望」に従い申し込む。
 - 3) コントラバス、パーカッション、マリンバ、ハーブの受験生には希望により他の受験生とは異なる方法で練習室を貸し出す。「志願票の記入方法」（15ページ）を参照。
該当する出願者に別途連絡する。
8. 受験を取りやめる場合は、本校まで必ず連絡する。
9. 服装については、特に指定しない。

練習室の貸出しについて

申込方法：受付日の当日午後と翌日早朝の分について、それぞれ1時間単位で申し込める。
詳細については、出願者に交付する『受験心得』を参照すること。

日 程	使 用 で き る 時 間 帯	
	7:00 ~ 8:00	17:00 ~ 20:00
2月 13日		
14日～15日		
16日		

一般推薦入試については本校が指定する実技試験直前練習以外には練習室の貸出しは行わない。

合格発表、入学手続、入学金・授業料等

合格発表

発表日 一般推薦入学試験・・・・・・・・・・ 1月23日(金) 10時予定
一般入学試験・・・・・・・・・・ 2月18日(水) 16時予定

発表方法 (1)校内掲示(本校玄関前または玄関ホール)
(2)郵送(同日発送)
合否通知は志願票に記載された連絡先宛に郵送する。発表日から5日経過しても通知が届かない場合は、事務局教務課入試係に問い合わせること。

書類の交付 入学手続書類(合格者心得)は合格発表と同日に速達で郵送する。ただし、一般推薦入学試験合格者には、発表当日、時間を限定して窓口交付も行う。

入学手続

手続締切日 一般推薦入学試験合格者・・・・・・2009年2月2日(月)[必着]
一般入学試験合格者・・・・・・2009年2月28日(土)[必着]
締切日までに手続を完了しない場合は、入学資格を失う。

提出書類等 (1)身元保証書(本校が指定する用紙)
(2)住民票(本人のみ記載のもの)または住民票記載事項証明書
(3)写真(タテ4cm×ヨコ3cm)1枚
(4)「入学手続納付金払込用紙」の副票
(5)誓約書(本校が指定する用紙)
(6)預金口座振替依頼書 他

入学手続の詳細は『合格者心得』で通知する。
手続を完了した者には、入学許可証を交付する。

入学金・授業料等(2009年度)

入 学 金	800,000円*	授 業 料	月額	68,400円
		施設補修費	月額	1,300円
		冷暖房費	月額	1,000円
		教材費	月額	900円
		保健費	月額	250円
		運営維持費	年額	300,000円
		生徒会費	年額	2,400円
		P T A 会費	年額	1,800円
		P T A 入会金		1,000円

(注) 1. 入学手続時には入学金[800,000円]*のみを納入する。

授業料等は入学後、原則として毎月26日に指定の銀行口座から自動振替にて納入する。

2. 授業料には専門実技レッスン受講料と、必修の副科ピアノ受講料及び理論科ピアノ受講料(作曲のみ)が含まれている。ただし、外国人教師等の特別レッスンは、レッスン料を別に徴収することがある。また、選択副科受講料、室内楽・二重奏ソナタ受講料は、受講者から別に徴収する。

3. P T A 入会金1,000円については、4月に納入する。(授業料と共に納入)

4. 運営維持費 300,000円については、毎年度4月に納入する。(授業料と共に納入)

5. 経済情勢の変動等に応じて2010年度以降の校納金については改定があり得る。

特待生制度および奨学金制度・学生寮等

特待生制度

入学試験または所定の学内試験における専門実技の成績が極めて優秀であると認められた者に、「入学金」「運営維持費」「授業料」等の全額または一部免除をもって、これを顕彰する特待生制度を設けている。

奨学金制度

桐朋学園音楽部門は、「桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部、ソリスト・ディプロマ・コース」に在学する成績良好、心身健全で経済的な理由により就学が困難な生徒・学生を対象として、一年ごとに選考を行い、授業料に充当する目的をもって、相当額を奨学金として給付する制度を設けている。この他、学業成績の特に秀でた生徒を顕彰するために桐朋学園音楽部門特別奨学金がある。また、各都道府県奨学金、企業、交通遺児等の奨学金の募集もあり、その募集時期等については学内掲示で発表する。

1．桐朋学園音楽部門奨学金

(1) 奨学金の種類

給付制奨学金（返還不要）

(2) 奨学金の金額

授業料の1割から10割までの金額を9月末に給付する。

(3) 申請方法

入学前と入学後の申請がある。

入学前の申請

入試要項に添付してある申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて入学試験志願票と共に提出する。給付の可否についての審査結果は、「一般入学試験」合格通知と同時期に、別便(予定)で郵送する。

入学後の申請

在校生を対象とする募集は毎年通例5月に行うので、その時に申請することができる。なお、入学前に申請した者も、再度申請することができる。

(4) 給付基準

原則として日本学生支援機構の算出基準に準拠し、実状を考慮しながら行う。

2．東京都育英資金

(1) 奨学金の種類

貸与制奨学金（返還要）

(2) 奨学金の金額

月額 30,000 円（無利子）

(3) 申請時期

年1回 5月

(4) 申請書類

1. 申込関連書類 2. 収入証明書 3. 住民票

(5) 申請資格

1. 申込者とその保護者(税務上の扶養者)が、共に都内に住所を有していること。
2. 経済的理由から就学が困難な者。
3. 成績良好、心身共健全であること。

(6) 決定基準

1. 学内選考 2. (財)東京都私学財団選考

注) 申請時期は掲示により発表する。貸与金額は年度により変更される場合がある。

教育ローン

公的な融資制度として、国民生活金融公庫が取り扱う教育ローンがある。

利用可能な方	融資の対象となる学校に入学・在学される方の保護者で、給与所得者については世帯の年間収入が990万円以内、事業所得者については世帯の年間所得が770万円以内の方
融資額	学生・生徒1人につき200万円以内
返済期間	10年以内(交通遺児家庭または母子家庭の方は1年の延長が可能)
融資の対象	・学校納付金(入学金、授業料、施設設備費など) ・受験にかかった費用(受験料、受験時の交通費・宿泊費など)等 * 今後1年間に必要となる費用が融資の対象となる。
取扱窓口	・国民生活金融公庫の各支店(全国152店舗) ・最寄りの金融機関(銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協など)

学生寮

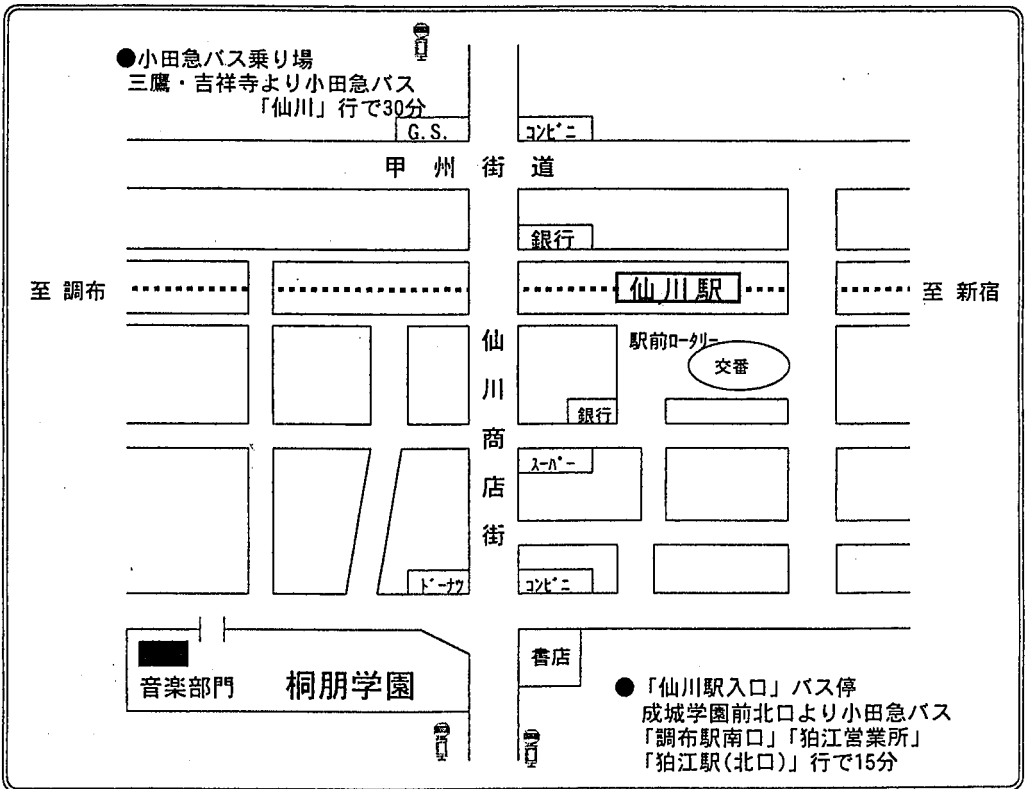
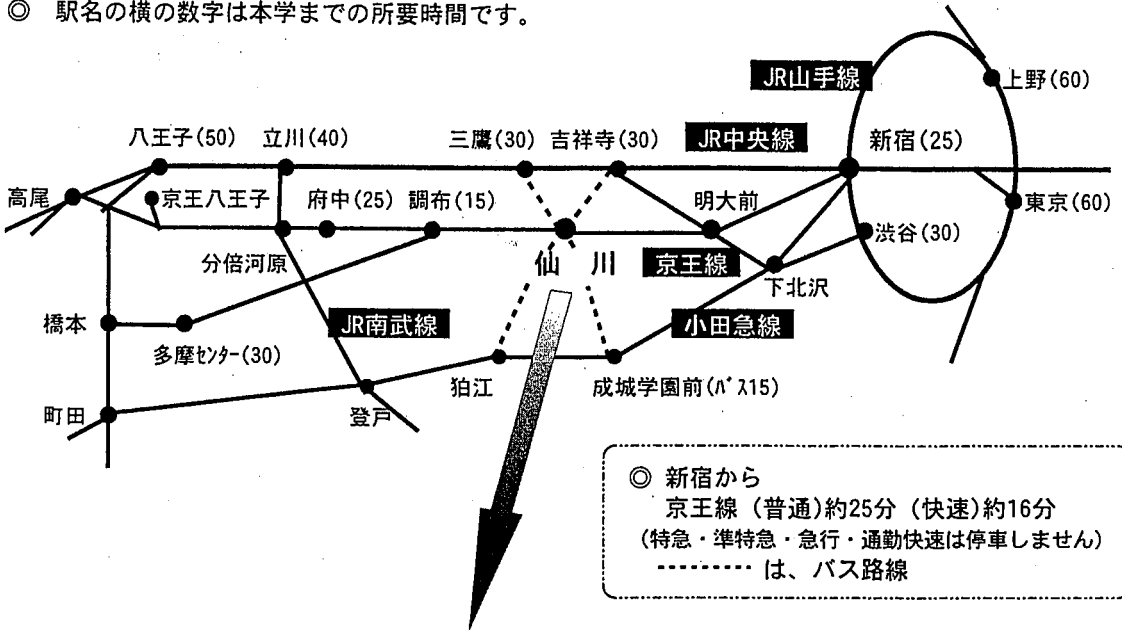
自宅通学が困難な生徒・学生のために150名収容の女子寮(全個室)を調布市内に設けている。男子寮は設けていない。

「2009年度寮生の募集について」

- (1) 寮生の募集人数は約20名。(大学生、ディプロマ・コース生を含む)
- (2) 入寮希望者は入試要項に添付されている所定用紙にて入学試験志願票と共に提出する。
- (3) 入寮の可否通知は、「一般入学試験」合否発表日の翌日(予定)に、合格者宛に発送する。
- (4) 寮敷地内の見学はできない。寮案内書を参照のこと。寮案内書(無料)を希望する者は、事務局教務課入試係に請求すること。

交通機関案内図

◎ 駅名の横の数字は本学までの所要時間です。



仙川駅から徒歩5分

宿泊施設

本学の幹旋ではありませんが、京王線沿線にはおおむね下記の宿泊施設があります。
予約・問い合わせは直接宿泊施設にお願いします。

(2008年7月現在)

ホテル・旅館名	料金		最寄り駅 (仙川までの所要時間)
スターホテル東京 Tel:03-3361-1111	シングル ツイン	12,850 ~ 17,850 ~	新宿駅西口 5分 (30分)
京王プラザホテル新宿 Tel:03-3344-0111	シングル ツイン	29,075 ~ 32,740 ~	新宿駅西口 5分 (30分)
新宿ワシントンホテル Tel:03-3343-3111	シングル ツイン	12,400 ~ 20,000 ~	新宿駅南口 10分 (40分)
渋谷東急イン Tel:03-3498-0109	シングル ツイン	15,540 ~ 24,360 ~	渋谷駅 JR 駅前スグ (40分)
渋谷エクセルホテル東急 Tel:03-5457-0109	シングル ツイン	22,145 ~ 27,920 ~	渋谷駅 JR 駅前スグ (40分)
ホテル ラ ガール・ドゥ ラ ヴィー Tel:03-3378-4666	シングル ツイン	8,400 ~ 14,700 ~	笹塚駅北口 5分 (25分)
調布クレストンホテル Tel:042-489-5000	シングル ツイン	11,335 ~ 17,325 ~	調布駅北口スグ (15分)
ホテル ツインズ東京調布 Tel:042-499-0330	シングル セミダブル	8,500 ~ 13,000 ~	調布駅東口スグ (15分)
ホテル ノーヴィス調布 Tel:042-483-2791	シングル セミダブル	7,800 ~ 12,000 ~	調布駅東口 1分 (15分)
サバーブインアネックス Tel:042-485-1171	シングル シングルのみ	7,800	調布駅東口 2分 (15分)
調布アーバンホテル Tel:042-486-9321	シングル ツイン	6,090 ~ 10,500 ~	飛田給駅 5分 (20分)
マロウドイン東京 Tel:042-369-1111	シングル ツイン	8,200 ~ 13,600 ~	東府中駅北口 1分 (25分)
ホテル コンチネンタル府中 Tel:042-333-7111	シングル ツイン	10,395 ~ 16,747 ~	府中駅 1分 (25分)
ビジネスホテル シティテル府中 Tel:042-334-9111	シングル ツイン	8,400 ~ 13,300 ~	府中駅 1分 (25分)
ビジネスホテル スプリング Tel:042-360-1411	シングル ツイン	7,087 ~ 12,075 ~	中河原駅 2分 (30分)

料金や食事等の詳細については、各自で直接各施設にお確かめください。